

十勝岳の噴火写真(1988年12月25日)*

旭川地方気象台
十勝岳火山観測所

十勝岳は昭和63年12月16日早朝、昭和37年以来26年ぶりの噴火をした。19日には火柱が観測され、24日の噴火では火砕サージとともに泥流が確認された。

さらに25日00時49分の噴火では、火砕流が噴火口から1.1kmの付近まで流下したが、旭川地方気象台十勝岳火山観測所では、この時の様子を高感度フィルムを用いて撮影することに成功した。一連の写真は夜間にも関わらず、噴火直後から火砕流が流下する模様を克明に捉えており、学術的にも大変貴重な火山の噴火記録である。

撮影に関するデータは下記のとおりである。

記

1. 撮影日時分：昭和63年12月25日00時49分からおよそ6分間
2. 撮影場所：旭川地方気象台 十勝岳火山観測所(北海道上川郡美瑛町字白金)
3. 撮影者：同上 渡辺精久(札幌管区気象台) 観測者：佐藤徹, 山岸晋, 大橋雅寿, 田村憲次
4. 撮影条件：200mm望遠レンズ, フィルム感度 ASA 1600, 絞りF4, 露出オート
5. 写真説明：No.2とNo.9の写真についてはスケッチ図を参照のこと

なお、北海道大学の勝井義雄教授からは、No.2とNo.9の写真について次のようなコメントをいただいた。

No.2の写真

火口の真上に赤熱した火山岩塊が放出され、手前(北側)に高温の火山岩塊、火山レキなどを含む火砕流が流下している。火山灰を含む黒煙が背後(南側)へ流れている。

No.9の写真

先に流下した二つの火砕流は止まったが、右手に新しい火砕流が噴煙を上げながら流下している。この火砕流は火口から約1km流下して高度約1,360mの山腹で止まった。

Photos : Pyroclastic flows from an eruption on 25 December 1988 at Tokachidake volcano ,
Hokkaido . The photos were taken from 00:49 to 00:55 .

* Received Feb. 15, 1989

No. 1



No. 2



No. 3



No. 4



No. 5



No. 6



No. 7



No. 8



No. 9



No. 10



No. 11



No. 12



No. 13



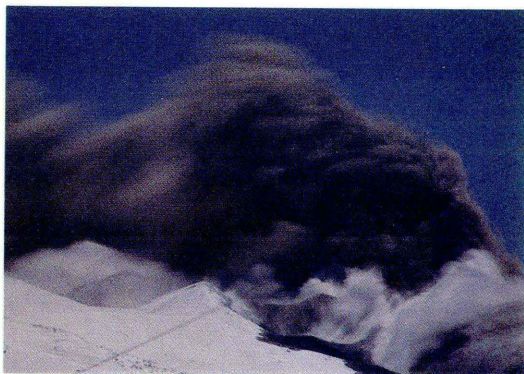
No. 14



No. 15



No. 16



No. 17



No. 18



No. 19



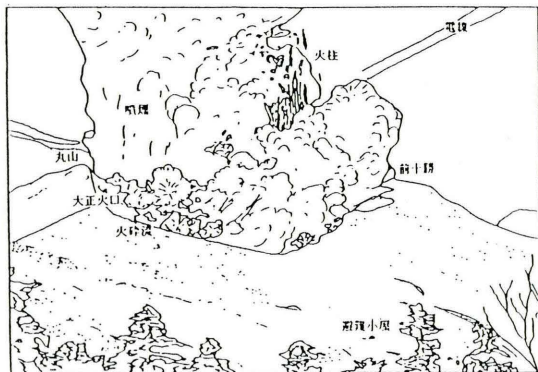
No. 20



No. 21



写真No. 2のスケッチ図



写真No. 9のスケッチ図

